

07

BOOK GUIDE

大社地域の本



大社地域は、島根半島の最西端に位置する、海に囲まれた自然豊かな町です。

出雲大社の門前町として古くから栄え、神々の国出雲の象徴である出雲大社には多くの観光客が訪れます。また半島先端には日御碕神社や東洋一の灯台もあり、断崖絶壁が続く景勝地は大きな見所です。

さらに、絶景ポイントとして知られる奉納山から眺める弓なりの海岸線と遙かに望む三瓶山の美しさは、まさに国引き神話を行はせるものがあり、雄大なスケールに包まれた神秘的な雰囲気の漂う町です。

また、島根ブランドとして評価の高いブドウの一大生産地としても知られ、島根ワイナリーではワインを製造・出荷するほか、屈指の観光スポットとしても賑わっています。

07

大社地域の本



BOOK GUIDE

地域全体

●たいしゃちょうし

大社町史 全6巻

著者名 大社町史編集委員会 編

発行者 大社町

出版年 平成3年（1991）～平成20年（2008）

歴

大社町合併30周年記念事業の一環として、約20年の歳月をかけて完成、発刊された全6巻に及ぶ大部の町史です。



町史編さんの使命として、町史刊行にあわせて町内の神社・仏閣、旧家などを訪ね歩き、失われつつある貴重な文化遺産を収集・保存し、後世に伝えていくことを重要な責務として努めています。

全体の構成は、通史編3巻（上巻・中巻・下巻）、史料編3巻（古代・中世上巻、古代・中世下巻、民俗・考古資料）の全6巻から成っていますが、その他にも大社町史年表、史料編（古代・中世別冊）、大社町史研究紀要（1～7）があります。

本書は、文字通り大社町の歴史を知るうえで欠くことのできない郷土誌であるのみならず、出雲大社のある町として、全国から注目される刊行物といえます。

●たいしゃちょうぎょうじょせいし

大社町行政史

著者名 大社町行政史編集委員会 編

発行者 大社町

出版年 平成16年（2004）

社

本書は、平成の大合併を記念して、これまでの大社町の行政の歩みを一冊にまとめたものです。行政史編集にあたっては、その前段として、膨大な公文書類を分類別に整理し集成する業務からはじめ、簡単に検索できるように、ファイル原本はCD-ROMに集成されていますが、本書にも「大社町行政保存文書一覧」として、CD-ROMが付属されています。

本書は、昭和26年4月から平成16年3月までの行政の歴史を9編の項目に区分して詳述しています。行財政の項目の機構変遷図ひとつをみても、その決して平坦ではない道のりをうかがい知ることができます。

●たいしゃちょうぎかいよんじゅうねんのあゆみ

大社町議会40年のあゆみ

著者名 大社町議会誌編集委員会 編

発行者 大社町議会 出版年 平成3年(1991)

社

昭和26年に、大社町、荒木村、遙堪村、日御崎村、鵜鷺村の5か町村が合併して大社町が誕生して以来、40周年を記念して発刊された議会史です。

本書は、膨大な議会関係記録や資料、写真とともに、合併の経緯や町議会議員および委員名簿のほか、40年の主なできごと、写真で見る議員活動や、大社町議会の運営などについて掲載されています。とりわけ、「大社町議会40年のできごと」については、「会議名、会期、案件」、「主要議決事項」、「町及び社会の動向」に区分して、昭和26年から平成3年までを暦年で詳述しています。また、「写真で見る議員活動40年」として、40年の主な活動実績を多くの写真で振り返っています。平成17年2月には、続編として『大社町議会のあゆみ(平成3年～平成16年)』も発刊されています。

●たいしゃまちかどひやっか

大社まちかど百花

発行者 島根県大社町

出版年 平成17年(2005)

歴

本書は、合併の流れのなかで、何ら変わることのない地域の大切な資源を再確認し、後世に伝えていくために編さんされた郷土誌です。本書の構成は、大社町の5地区(杵築・荒木・遙堪・日御崎・鵜鷺)の各地区ごとに、地域の情報の提供を受けながら、地域の細かな歴史を掘り起こし、地域のすばらしさを再認識できる一冊といえます。



多くのカラー写真を折り込み、読みやすく楽しめる内容になっていますので、この一冊を読めば大社の見所がほぼ把握できます。なお巻末には、「大社のこだわりまちかど」として、町内の有形・無形の財産を載せるとともに、昭和26年から平成17年の合併までの歴史を「大社町のあゆみ」として暦年で記しています。

●しまねはんとうさんぽ たいしゃへん

島根半島散歩 大社編

発行者 大社史話会

出版年 平成10年(1998)

歴

本書は、山陰中央新報に連載された『島根半島散歩』のうち、大社編を一冊にまとめたものです。数多くの文化財や歴史と伝統ある大社について、74の項目で紹介した本書は、埋もれた史実や興味ある話題が満載の読み物です。

知っているようで知らないかった大社の奥深さを改めて感じる一冊として、読んでおきたい好著といえます。

●ふうけいすかん たいしゃゆうゆうまがじん

風景図鑑 たいしゃ遊悠 MAGAZINE1

発行者 大社町

出版年 平成7年（1995）頃

歴

多くのボランティアスタッフの協力のもとにつくりあげた、大社町の街角の風景を映し出した雑誌風の冊子です。

本書には、町内のそこかしこにみられる眠れる街角の宝を掘り起こしていますので、そこに住む人たちにとっても新たな大社を発見できます。

カラー写真はありませんが、多くの写真やイラスト、マンガを盛り込んだ内容になっていますので、楽しみながら学べる一冊です。また、巻頭と巻末に載せられた「大社八景」や、大社小学校の子どもたちの好きな風景を描いた「大社三十六景」は、ふるさとによせる思いが凝縮された後世に伝えたい大社の風景です。

●しゃしんはかたるたいしゃのひやくねん

写真は語る大社の百年

発行者 大社町教育委員会

出版年 平成2年（1990）

写歴

昭和54年に大社史話会が開催した「写真で見る大社町—明治・大正・昭和一展」などの好評を契機に、編集・発刊された写真集です。本書は、集まった約3,000点の写真のなかから約500点を絞り込み、さらなる編集作業の末に完成したものです。厳選された写真に短い解説を加え、「門前町の変遷」、「水辺の暮らし」、「暮らしを支えた産業」など11項目に分類して掲載しています。



今となっては見ることのできない懐かしい写真も多く、地域の貴重な財産として、後世に語り継がれていく一冊といえます。

なお巻末には、写真集関係年表も添えてあり、町のできごとと国・県のできごとを対比しながら、大社の一昧違う100年を知ることができます。

●たいしゃちょうめいじひやくねんし

大社町明治百年史

著者名 小村尚司

発行者 大社の話社

出版年 昭和43年（1968）

歴

明治元年からの100年を記念して出版された年表です。

本書は、明治元年から昭和43年までを暦年で細かく拾い出して記録していますが、読者が追加して記入できるように、年ごとの余白が残されています。

また巻末には、現在の大社町の概況や、大社の民話について簡単に記録するほか、我家の歴史が記載できるようなスペースが用意されています。

●たいしゃのしわ

大社の史話

発行者 大社史話会

出版年 昭和49年（1974）～

歴

昭和48年5月にわずか10名ばかりの同好の集まりとして結成され、現在も充実した活動を展開する大社史話会の定期機関誌です。



歴史ある大社には、史跡、文化財、伝承、郷土芸能など数多くの素材があり、その中に埋もれていた財産を多くの会員が発掘してできた本書は、大社の歴史文化を底辺から力強く牽引する原動力といえます。

本書は、季刊(年4回)の逐次刊行物として発刊され、平成25年12月現在で第177号まで刊行されています。その間、合刷版第1～3集のほか、総目次集(創刊号～第120号)、数々の特集号も組まれ、また大社史話会として、出版物の発刊、各種イベントの主宰など、長く地道な活動が継続されています。

●はつけん たいしゃちょうのいせき

発見！大社町の遺跡

発行者 大社町教育委員会

出版年 平成15年（2003）

歴

小学生向けに作成された、大社町の遺跡を紹介した小冊子です。

本書では、はじめに考古学の用語である遺跡・遺物・遺構について説明してから、町内遺跡探検として、出雲大社とその周辺、大社小学校・中学校周辺、日御崎周辺、荒木・修理免・遙堪周辺の4つのブロックにわけて、それぞれのブロックにある遺跡を、カラー写真とイラストを交えてわかりやすく解説しています。

また巻末には、旧石器時代から現代までの簡単な年表がありますので参考になります。

●たいしゃけんちくことはじめ

大社建築事始

著者名 藤澤彰ほか 発行者 大社文化プレイス

出版年 平成14年（2002）

技

三本を束ねた巨大な御柱の出現を契機に、大社文化プレイスで開催された3回の連続講座「大社建築事始」の成果を、「大社二十一世紀文庫」の第2巻として発刊したものです。

本書は、出雲大社をはじめとする神社建築のみならず、門前町として形成された町並みの伝統と歴史を理解することによって、21世紀につながる大社の環境づくりを探ることができるとの考えから、古代から現代までの幅広い建築を対象にして考察しています。

建物をつくるにあたって考えることや建物を見るポイントなど、建築をわかりやすく紹介していますので、楽しめる内容になっています。

●うんたのまちものがたり

雲太のまちものがたり

著者名 大社町小・中学校教育研究会 大社町教育委員会 編
発行者 大社町 出版年 平成17年（2005）

歴

豊かな歴史をもつ大社町について、15の話をもとに、子ども向けにわかりやすく書かれた刊行物です。

本書は、「神々のふるさと」、「山陰屈指の交易港と杵築商人の活躍」、「土地を拓く」、「出雲大社の造営と門前町の繁栄」、「北前船の来る港」、「灯台と駅舎づくりにかけた夢」、「大地を生かした産業づくり」の7つの大きなテーマについて、絵画や写真を折り込みながら物語風に仕上げられていますので、とても読みやすい一冊といえます。

また巻末には、町内の各小・中学校の校歌も掲載されています。

●いづもたいしゃ

出雲大社

著者名 千家尊統
発行者 学生社 出版年 平成10年（1998）

哲

出雲大社の概説書として広く読まれた第1版から30年が経過し、平成10年現在の新しい知見を加えて小改訂した第2版です。

荒神谷遺跡や加茂岩倉遺跡などからの考古学上の大発見と、出雲大社の信仰の伝承との相関が興味深いところですが、あくまで小さな改訂に留め、基本的に本文はそのまま残されています。

本書は、出雲大社の概要を知るうえでは最も身近な読み物として、これからも長く読み続けられる好著といえます。

●いづもたいしゃのけんちくこうこがく

出雲大社の建築考古学

著者名 淺川滋男 島根県古代文化センター 編
発行者 同成社 出版年 平成22年（2010）

技

「大社造」という社殿形式の成立と変遷過程を考えるうえで、出雲大社境内の発掘調査は大きな知見をもたらしました。

本書は、「大社造の起源と変容に関する歴史考古学的研究」をテーマにした科学研究費補助金の交付を受け、新発見の考古資料によって実証しようとする試みとして開催された第1回シンポジウムの「山陰地方の掘立柱建物－弥生・古墳時代－」と第2回シンポジウムの「大社造シンポジウム」の内容を基調とし、一部新たな研究項目を加えてまとめられています。「建築考古学」というアプローチでの新たな試みは、現時点における最高水準の研究レベルを示したものとして注目される一冊です。

●しんわゆうは

神話遊歩

著者名 たいしゃ縦う会21 編
発行者 大社史話会 出版年 平成元年（1989）

哲

昭和62年に大社町で開催された山陰放送企画のラジオウォークの実況内容を、『大社の史話』特集号として掲載したものです。

町内外から約1,000人の参加があり、講師の話を聞きながら、JR大社駅から稻佐の浜

までを歩くイベントでは、町内各所の見所がわかりやすく解説されています。

古代文化発祥の地である大社町で開催されたことは大変意義のあることで、大社のまちを歩く人には参考になるコースといえます。

●いざもたいしゃとおくにさんのまちから

出雲大社と阿国さんのまちから

著者名 出雲阿国顕彰会 編著

発行者 山陰中央新報社

出版年 平成15年(2003)

人芸

本書は、出雲阿国が歌舞伎を創始してから400年の節目に、あらためて阿国の偉業を振り返り、その現代的意義を考える一助となることを願って発刊された読み物です。

阿国の生涯を四季になぞらえ、春の章、夏の章、秋の章、冬の章としてたどりながら、それぞれの季節に、阿国さんのまち、祭りの四季を綴っています。

また、阿国に関わりの深い芸能人や研究者の阿国に寄せる思いや、出雲阿国歌舞伎俳句作品募集入選作品の紹介、「年表・阿国さんと芝居と大社町」、「出雲大社と阿国さんのまちガイドマップ」なども掲載され、阿国のまち・大社をわかりやすく知るために格好の一冊といえます。

●たいしゃのあじ ごつつおさん

大社の味 ごつつおさん

発行者 大社町連合婦人会ほか

出版年 昭和59年(1984)

技

大社町の各種婦人団体の代表が青年会議所との話し合いのなかで生まれた大社の味を、200名の会員の協力により、一冊の本としてまとめたものです。

本書には、大社の「伝統行事と料理」、「四季の料理」のほか、大社の家庭で親しまれている食卓の味を、魚貝料理、肉料理、煮もの、揚げものなどの12種の料理法にわけて、各種料理を紹介しています。

料理の写真はありませんが、料理ごとに材料、作り方を説明するとともに、料理によっては「ひとこと」欄にアドバイス等を加えた親切な編集になっています。



杵築地区

●ちゅうごくちはうのまちなみ

中国地方の町並み 3

発行者 海路書院

出版年 平成20年(2008)

技

全国各地に残されている伝統的な町並みを集成した『日本の町並み調査報告書集成』のうちの一冊です。

本書には、島根県の「杵築の町並み」のほか、「温泉津」(島根県)、「津山城東の町並み」(岡山県)、「鞆の町並」(広島県)の4カ所の町並みが掲載されています。

本書に収録された「杵築の町並み」は、平成7年に大社町教育委員会が「伝統的建造物群保存地区保存対策調査事業」として行った調査の成果報告をこのシリーズに再掲し収録したもので、社家と町屋が併存した杵築地区の特徴ある町並みについて、専門家による写真と図面を多用した詳細な報告がなされています。

また巻末には、「日本の町並み調査報告書集成 解題」や「伝統的建造物群保存対策調査実施地区一覧」(平成19年4月1日現在)などが載っています。

●きづきこじきしょう

杵築古事記抄

著者名 黒目次郎兵衛

発行者 大社史話会 出版年 昭和50年(1975)

歴

『大社の史話』創刊一周年記念特別号として発刊された、『杵築古事記 全6巻』の抄録です。

本書は、大正10年に大社町役場から発行された『杵築古事記抄』と『月刊大社の話』から抜粋したものを小冊子にしたもので、神話、伝説、故事など幅広い話題が掲載され、読み物としても面白いものです。

学問的な著作が多い大社にあって自由な考察が加えられた本書は、類例の少ない著作といえます。

●おうじのふるさと

往時のふるさと

著者名 江角博

発行者 大社町小土地三区町内会

出版年 平成元年(1989)

歴

小土地三区の写真や記録をもとに、お年寄りの実態にあわせて制作された、ビデオ番組『老後の生きがいを求めて』の放映を契機に編集された地域誌です。

本書は、町内のお年寄りのご家庭を訪問して話を伺いながら、小土地三区の歴史を繙いたもので、69枚もの懐かしい写真や絵図、地図、新聞記事など、多くの資料が盛り込まれています。

汽船が入港して賑やかな町並みだった、かつての小土地三区が偲ばれる記録書として、『続・往時のふるさと』とともに意義のある一冊といえます。

●ぞくおうじのふるさと

続往時のふるさと

発行者 江角博

出版年 平成9年（1997）

歴

平成元年に発刊した『往時のふるさと』の続編として、同じ著者によって編さんされた著作です。

本書では、前著以後に解読してきた公会堂にある無常講帳の記録のほか、小土地三区で実施したアンケート調査による、人口・職業・初代・宗教などの調査結果や、大社町の吉兆神事などの地区の行事について、詳細に記録しています。

また、平成8年から発行している「小土地三区たより」を最終号の第14号まで掲載して地区内での活動を報告しているほか、『往時のふるさと』に寄せられた読者の便りなどの細かな資料も満載されています。

●あかつかれきしたんぼう

赤塚歴史探訪

著者名 「赤塚歴史探訪」編集委員会 編

発行者 赤塚自治会 出版年 平成22年（2010）

歴

さまざまな文献や絵図に登場する「赤塚」について、はじめてまとめた郷土誌です。

本書では、出雲大社の門前町の主要集落として栄えた「杵築六力村」のひとつ、赤塚について、地名の由来、古代からの歴史を概観するとともに、絵図に描かれた赤塚についても考察が加えられています。また、浜に面した赤塚のさまざまな生業や神社仏閣から台場、神楽などの多くの歴史文化遺産にも触れられており、多面的な赤塚の一端を知ることができます。

資料編では、赤塚に関する古文書や古文献を列挙しており、古くからの歴史と伝統のある赤塚がうかがえる好著といえます。



荒木地区

●ふるさとなかのしま

ふるさと中の島

発行者 中の島川中会 ふるさと会記念誌編集委員会

出版年 平成15年（2003）

歴

本書は、平成14年8月に開催した「ふるさと会」を契機に、川中会発足20周年記念事業として編集・発刊された町内会誌です。

ふるさと今昔物語として、各家庭から持ち寄られた写真を一冊にまとめたのですが、主に人物を中心に編さんされ、地域のほのぼのとした温かみを感じさせる写真集になっています。また本書には、中の島の歴史や流下橋の話のほか、ふるさと会参加者の一言メッセージを載せています。

●ふるさとあらき

ふるさと荒木 第1～5号・別冊第1～2号

発行者 ふるさと探訪講座の会

出版年 平成11年(1999)～平成20年(2008)

歴

本書は、平成9年度から始まった荒木公民館の「ふるさと探訪講座の会」における学習や、地域での現地探訪の成果をまとめて逐次発刊したものです。本書の構成は、第1号（歴史・文化・自然）、第2号（地名と道・祭りと芸能）、第3号（農林業の歴史）、第4号（子どもの遊びと昔話）、第5号（地区の年中行事）、別冊第1号（地区的文化財）、別冊第2号（地区的社会教育）から成り、荒木地区を多面的に、かつ概ね総合的に掘り下げた地域住民の手づくり郷土誌です。



本文中には写真や図、表が多用され、親しみやすく、わかりやすい内容になっていますので、まとった郷土誌のない荒木地区においては、その歴史や文化を知るうえで参考になる一冊です。

遙堪地区

●しゃしんでみるようかんのあゆみ

写真で見る遙堪の歩み

発行者 遥堪写真集刊行委員会

出版年 平成16年(2004)

写

歴

昭和61年に遙堪公民館で開催した「写真で見る大社の百年」の移動展を契機に、写真集編集の機運が高まり、発刊されたものです。

本書は、集まった900枚の写真の中から400余点を選び、「ふるさと」、「かやぶき・わらぶき屋根」、「時局」、「スポーツ」など15項目に区分して、懐かしい写真に解説を加えて編集しています。

また巻末には、参考資料として、「遙堪地域の歩み—原始・古代～中世を中心にして」や年次表を掲載しています。

日御崎地区

●ふるさとまるかじり

ふるさとまるかじり 第1～3集

発行者 ふるさとまるかじり講座

出版年 平成16年(2004)～平成21年(2009)

歴



本書は、日御崎公民館の「ふるさとまるかじり講座」で調べた成果を3冊にまとめて発刊したものです。

「ふるさとまるかじり」第1～3集から成り、第1集（「日御崎みである記」）では、神社・仏閣、名勝などを訪ね、中山地区・御崎地区・宇童地区のそれぞれに分けて記述するほか、第2集（「山陰の日御崎神社みである記」）では、出雲地方や鳥取県西部に分布する日御崎神社を探訪し、神社のつながりを調べています。さらに、第3集（「日御崎の島みである記」）では、日御崎の島や海岸の名称や由来について、それぞれの地区ごとに詳しい人を訪ねて調査・総検討をするとともに、巻末には「島物語り歌謡」、「島めぐり」、「鷺浦盆くどき」を掲載しています。

●ひのみさきかいころく

日御崎回顧録

著者名 加地浩一郎

発行者 高橋昌造 出版年 昭和36年(1961)

歴

日御崎神社の「中官」加地家の当主であった著者が、日御崎に関する記録や見聞きしたことを書きとめたものです。本書では、日御崎神社に関して多くの頁を割き、社寺・社中・頭分、小野検校家のほか、神社の由来や社領、神龍略記など、さまざまな記事を載せています。また、日御崎神社に関連する神宮寺など3カ寺について掲載するほか、巻末には満州紀行や著者略年表も添えられています。

鵜飼地区

●うさぎこじしゅうじょう

鵜飼古事集抄

著者名 杉谷正吉

発行者 杉谷正吉 出版年 昭和47年(1972)

歴

著者還暦を記念して出版した鵜飼地区についての郷土誌です。

本書は3部からなり、第1部に鷺浦、第2部に鵜崎浦、第3部に両地区的民俗行事や方言などを収録しています。なかでも、明治時代に繁栄した鷺浦について、古⽼の⼝伝や古文書をとおしての考察は、得がたい資料として参考になります。

出雲神話と神々

古代出雲は、神話に彩られた世界です。日本神話のなかでも、出雲やその周辺を舞台にした神話や、スサノオやオオクニヌシといった出雲を代表する神々が活躍する神話を、出雲神話とよんでいます。

出雲神話には、『古事記』や『日本書紀』にみられる神話(記紀神話)のほか、『出雲國風土記』にも神話が語られています。主な記紀神話では、ヤマタノオロチ退治の神話と国譲り神話があります。また、風土記の神話としては、国引き神話がその代表格といえます。これらの神話は全くの作り話ではなく、何らかの史実を反映させた内容を含んでいます。それは、荒神谷遺跡や加茂岩倉遺跡で発見された大量の青銅器など、近年の考古学的成果からも窺うことができます。時代は違いますが、昔からの伝承や言い伝えが神話となって後世に語り継がれているものといえます。

また出雲神話には、八百万の神々^{やおよろず}_{かみむかえ}が登場し、活躍します。出雲大社では、旧暦十月には全国の神々を出雲に迎える神迎神事が行われるなど、出雲には神話と神々が深く根づいています。

出雲神話と神々については、さまざまな角度からのアプローチがなされ、数多くの概説書、研究書が発刊されています。

<一般書>

出雲の神話

著者名 上田正昭
発行者 淡交新社
出版年 昭和40年（1965）

出雲神話の成立

著者名 鳥越憲三郎
発行者 創元社
出版年 昭和46年（1971）

出雲 神々のふるさと

発行者 平凡社
出版年 平成15年（2003）

神々と歩く出雲神話

著者名 藤岡大拙
発行者 NPO法人出雲学研究所
出版年 平成22年（2010）

島根の神々

発行者 島根県神社庁
出版年 昭和62年（1987）

神話のふるさと

発行者 山陰中央新報社
出版年 平成24年（2012）

<児童書>

すさのおとおおくにぬし

著者名 舟崎克彦
発行者 トモ企画
出版年 昭和60年（1985）

やまたのおろち

著者名 舟崎克彦
発行者 トモ企画
出版年 昭和58年（1983）

<紙芝居>

やまたのおろち

著者名 西野綾子
発行者 かみありづき
出版年 平成25年（2013）

国ゆづりのものがたり

著者名 西野綾子
発行者 かみありづき
出版年 平成25年（2013）